

防犯に努める高森警察署

十数年ぶりに看板を掛け替える

12月15日(月)



看板の標語は、家族で作る防犯・交通安全標語で防犯部門最優秀賞に選ばれた大津高校1年生の檜木野紀子さん(上色見・西中原)の作品。檜木野さんは、吉田署長と共に看板を掛け替え、「重くはなかったけど、重みがあった」と感想を述べました。また、表彰の驚きと嬉しさの表情を浮かべながら「この看板の設置を通して、みんなが気をつけてほしい」と思いを語っていました。

高森湧水トンネル公園クリスマスツリー コンテスト表彰式

1月22日(木)



昨年12月、高森湧水トンネル公園で飾られていた趣向を凝らした個性的なクリスマスツリー。コンテスト開催(12月21日・22日)の結果、14団体が草村町長から表彰を受けました。

表彰式修了後は記念撮影(1団体が欠席のため写真は13団体です。)を実施。60基以上のツリーが並ぶ中、みごと受賞したのは次の団体です。おめでとうございます。

特賞	け	や	き	工	房
金賞	青	山	製	所	熊
金賞	本	工	場		
銀賞	ヤ	マ	ダ	ケ	1
銀賞	湧	水	折	紙	会
銅賞	色	見	保	育	園
銅賞	く	る	み	幼	育
銅賞	阿	蘇	立	野	病
アイデア賞	六		笑		会
アイデア賞	湧		水		館
アイデア賞	高	森	町	観	光
アイデア賞	高	森	ポ	イ	ン
アイデア賞	株	式	会	社	ス
アイデア賞	安	方	工	務	店
アイデア賞	特	別	養	護	老
	人	ホ	ー	ム	梅
					香
					苑



1月26日月

保育に対する理解を深める

高森保育園「一日保育者運動」



高森保育園を、園児には見慣れない人たちが訪れました。町内の小中学校や高校の先生、保護者の代表などです。

これは、多くの人たちへ保育に対する理解を深めてもらおうと行われたもので、「一日保育者」として登場した6名の先生が、園児とふれあいました。

園児は、新しい先生と次第に打ち解け、園内が笑い声で包まれました。

1月26く30日

給食に感謝 町内小中学校に1週間の特別給食が登場



全国学校給食記念週間（1月24～30日）の一環として、各校に26日から30日まで特別な給食が登場しました。

127年前（明治22年）、山形県で始まったとされる給食。子ども達は、調理員の先生方との交流などを通し、食べ物大切さや感謝の心を学びました。初日の給食では、ピーマンの昆布あえやのっぺい汁のほか、鮭や海苔などで各自作ったおにぎりを味わっていました。

1月31日・2月11日

少年剣道クラブが大健闘

個々がそれぞれ結果を残す

1月31日、県大会（合志市総合体育館ヴィーブル）に出場し2名が入賞。また、2月11日の阿蘇南部地区の大会（西原中学校体育館）でも5名が入賞を果たしました。おめでとうございます。



県剣道道場連盟学年別個人選手権(1/31)

■小1男子の部 敢闘賞 中川徠斗くん

■小2女子の部 準優勝 興梠七菜さん

阿蘇南部町村長旗(2/11)

■小2以下の部 優勝 興梠七菜さん

■ " 準優勝 中川徠斗くん

■小4男子の部 第3位 佐野裕樹くん

■ " 興梠正伍くん

■小6男子の部 第3位 廣田怜治くん

高森中学校ソフトテニス部

中学選抜八代大会で準優勝



九州大会レベルのこの大会では、各県ベスト8以上の学校が出場し、苦戦しつつも見事準優勝を獲得。出場までには、郡市の新人戦優勝、県大会での好成績を残しました。また、部員はこれまで個人としても結果を残し、2年生全員（6名）が新人戦で1位から3位を独占。大会を勝ち進み、池田・本川ペアが九州大会にも出場しています。今後の活躍が期待されます。

1月31日 土

高森中央小6年生の卒業記念

山杉やモミジなどを植樹



国道265号線沿いにある林野に5種類（山杉、ケヤキ、カエデ、クヌギ、モミジ）の苗木を50本植樹。これは、町林業研究クラブが触れあう機会が少ない児童のために毎年開いているものです。

卒業を迎える6年生（この参加は37名）は、苗木に思い思いの言葉を綴った木札をかけました。きのぼり機を使った枝打ちと間伐も体験し、卒業前の思い出づくりを行いました。

2月2日 月

今春、新1年生になる子ども達

ちょっと早めに小学校へ



高森中央小学校で1日体験入学が実施されました。これは、未就学児（4月：新1年生）の授業体験と、5年生（4月：新6年生）に最上級生になる自覚を持ってもらうことが目的。5年生は読み聞かせの実施や、メダル作りをサポートするなどの交流をしました。別室では、未就学児の保護者が互いに子育てについて話し、家庭での子育てを見直すきっかけ作りも行われました。

2月5日 木

2月7日 土

町立保育園合同家庭教育講演会 親子みんなで考える



高森総合センターで開かれ、色見保育園、高森東保育園の保護者や園児およそ80人が参加。水野直樹さん（papaラボ代表）の教育に関する講演や、親子ふれあい体操、宝（会場に隠したペットボトルの蓋）探しが行われました。

その後、各園の交通安全担当者による紙芝居があり、実際に近くの信号に移動して道路を横断。子ども達は、とても真剣な表情で渡っていました。

2月8日 日

熊日郡市対抗男子駅伝大会 本町ゆかりの選手が力走



41回目となる今大会は、天草市（本渡）から上通びふれす熊日会館（熊本市）まで全長105.3km（全14区間）で開催されました。阿蘇郡市チームには本町ゆかりの3選手も出場し、自分の走りをみせました。4区に宇藤康大さん（色見・西丁）、8区に梅田大輔さん（町職員）、10区に今岡雄太さん（大学生）が出走。19チーム中6位入賞を果たしました。

2月10日 火

公平な税負担を！！ 阿蘇郡市併任徴収協定を結ぶ



今年で3年目となる「阿蘇郡市町村税徴収向上に係る職員派遣に関する協定書調印式」が大阿蘇環境センター未来館（阿蘇市）で行われました。

これは、阿蘇郡市の税務担当職員が、税の徴収率向上などを目指し、連携して滞納者宅への合同捜索や差し押さえを行うものです。今後も阿蘇郡市全体で滞納整理に取り組み、税負担の公平化を目指していきます。

伝統の「みさを大豆」に触れる 中央小3年生が豆腐づくり

2月13日 金



高森中央小学校で、豆腐製造メーカーが豆乳から作った豆腐作りを、J A阿蘇女性部が町特産「みさを大豆」の豆腐作りを指導しました。

児童は、昨年苗植えから収穫まで行なった「みさを大豆」での豆腐作りを楽しみにしていました。今回、昔ながらのやり方で石うすで豆を潰したり、豆乳とおからを分ける作業を体験。しっかりとした味にご満悦のようすでした。

タスキを仲間に! 全力疾走 町交通安全宣言駅伝大会

2月15日 日



天候に恵まれ、36回目を数える今大会が開幕しました。一般の部（オープン参加含む）11チームに7つの小学生チームと9つの中学・高校チームが混じってスタートラインに並列。開始の合図と共に一斉に走り出しました。6区間6.6kmのコースでは、顔を歪める参加選手も。「交通安全」と書かれたタスキをつなぎ、沿道の応援者や住民等に交通安全を呼びかけました。

高森高校3年生の「鉄道の旅」 卒業列車で思い出づくり

2月17日 火



南阿蘇鉄道企画の「卒業列車」が運行されました。6年目となる今年、生徒32名（高森出身15名）は降灰で汚れた高森駅周辺を清掃。乗車の際は、靴に付いた灰を落とすなど心配りをしていました。高森－立野間を往復する列車内では、社員手作りのぜんざいの振る舞いや、変装した地元洋菓子店からマフィンが贈られるなど、「鉄道の旅」を楽しんでいました。